

大学院を修了した後、教員になった。教科の指導だけでなく、高校生の探究活動に関心を持ち、上司と環境にも恵まれて探究担当を続けられている。大学院生のときには、先の研究の解析で使った検定は先輩に言われるがまま「受け身」でやっていただけで正直まったく理解していなかった。ただ、教員として高校生の「データのばらつきを全て無視して平均値が少し変わっただけで議論するレポート」を大量に読むことにうんざりして、仮説検定の考え方に授業で触れ始めた。さらに勉強をして、前任校では数学のデータ分析分野の授業を4年間にわたり担当する経験もさせてもらえた*8。主体的に課題を設定し、人に伝えようとした結果、より理解できるようになったと考えている。

高校生の探究は、お金ない、時間ない、知識ない、とできることが限られている。その制約を前提に生徒の皆さんが、探究を通して、なぜ学ぶのか、そして何を学びたいのか（どんな大学・学科に進みたいのか）、そして社会にどのように関わりたいのか（どんな指導者になりたいのか）が少しでも明確になり、より主体的でミスマッチの少ない選択をしてもらえればと思っている。そして探究を進めるには知識が必要である。授業で獲得した各教科の知識やスキルを実際に自らの武器として活用することで課題を攻略する経験をもとに、学ぶって面白い！と、ただ与えられた問題を解くためだけではない学びが実現できればと考えている。（中略）これまで、高校生の創意工夫のある多様な探究に出会ってきた。自らの興味関心だけでは知りえなかった出会いがあるのも私にとっての探究の面白さの一つである。

1)加藤久典(2021)『胎児期の栄養が生活習慣病の発症に及ぼす影響のエピゲノム解析』「生化学」93.1.77-81

2)Barker,D.J , Osmond, C. (1986)Infant mortality,childhood nutrition ,and ischaemic heart disease in England and Wales.Lancet.1.1077-1081

3)Moe Miyoshi et al (2021) Maternal protein restriction induces renal AT2R promoter hypomethylation in salt-sensitive, hypertensive rats. Food Science and Nutrition.9(3).1452-1459

*1 例として二次大戦時の「オランダ飢餓の冬」。

*2 栄養・健康に関わる研究がしたいという漠然とした思いがきっかけだが、もう少し課題意識を学部の人に形成できていればと思っている。ただ、理系研究室では、研究室で取組んでいるテーマを「与えられる」ことも多いのではないかな。

*3 当然、生命倫理に配慮して規定に基づいて実験を実施している。動物実験は極力減らす。

*4 特に交配時は毎朝定時に、夜間に交尾をしたか確認する。妊娠したら餌を切り替える必要があるためだ。人間と違い出産日がほぼ確実にわかるようになる。生物飼育している研究に年末年始とか関係ない。分担して休みますが。

*5 検査はしていないが、ラットアレルギーを疑っている。

*6 ラットの血圧は全身をバンドで固定し、尻尾の付け根で測定する。暴れると測定できない。

*7 雇用やスポンサーの関係で成果を出さなければいけない立場の人にとっては大変そうである。

*8 面談でやりたいと言ったら任せてくれた当時の校長には感謝である。

先輩からの言葉

半世紀にわたる仕事歴

朝陽同窓会会長 フジテレビ旧友会副会長

18回生 三上 彩子

フジテレビのアナウンサーに

「なぜフジテレビのアナウンサー試験を受けたのだろう」折に触れてそう思う。本当は全く違う研究職を希望していたのに…。

就職活動のころ、大学の廊下の人だかりの先に、たまたま『フジテレビアナウンサー募集』の張り紙が。

「テレビ局って?」「加山雄三が歩いていたりして?」という野次馬根性丸出しで願書を提出してしまったのだ。7次試験までの大変な難関、倍率で言うと数百倍である。どこかの時点で落とされるに違いないと思っていたが、とうとう最後の4人に選ばれてしまった。その勢いそのままアナウンサーを選択した。

テレビ局のアナウンサーは激務、バリバリの体育会系だ

ひとたび事件が起きれば現場に飛んでいかなければいけない。好きなジャンルなんて言っていられないのだ。『ドバイで日本赤軍によるハイジャック事件が発生。日航機が爆破され乗客乗員が着の身着のまま羽田に降り立った』こんな事件は男が行くものと相場が決まっていたが、「三上、中継行け」と腕章を手渡され戦場のような中継現場に放り込まれたこともあった。マイクが飛ばされたり靴が片方亡くなったり取材合戦の大混乱。最近取材合戦も上品だが、昔は大変だった。

しかも当時はマスコミと言えども男女格差があり、海外取材やヘリコプターに乗っての取材は、男には保険が付いているのに女は対象外。それらの格差をクリアすることから始まった。『女子アナのパイオニア』と言ってくさる方がいるのは、そんな理由からだろう。

壁にぶち当たりながら『分かりやすく伝える』『正しく伝える』とはどのような事なのか、試練、試練と思っただけのものだ。

『小川宏ショー』の司会者に抜擢

報道番組、インタビュー番組、旅番組…と経験を積んだが、中でも『小川宏ショー』の司会者に抜擢されたことが大きな飛躍になった。知名度が上がれば仕事がしやすい。また小川さんや露木さんのベテランの隣でおしゃべりすることで、インタビューの極意を肌で感じる事ができた。ゲストから良い答えを引き出すには『一に勉強、二に勉強』。その結果、ゲスト本人ですら気が付いていなかった核心や本音を引き出せたり…。観察眼がものをいう事も知ることができた。

『小川宏ショー』を続けながら、結婚して子育ても。母親の立場でのワイドショーの司会者は、それはそれで価値はあるのだが、実際の子育ては人任せ。せっかくの子育てのチャンスを逃したくないとフリーランスの道を選ぶことに。

仕事の幅を広げているうちに…半世紀が。

看板番組を担当していたおかげで、生活スタイルに合わせて、在京キー局のレギュラー番組を持つことができたのだ。本当にラッキーだった。そうこうしているうちに、「きれいな話し方を身に付けたい」「伝える話し方とは」「面接の受け方」などの講演依頼が。

古巣のフジテレビからも『アナトレ』というアナウンサー希望者向けの講習や、新人アナウンサー研修などの依頼。現在『めざましテレビ』などを担当している若手アナウンサーの多くが私の教え子である。

ある大学の国際関係学部では「キャスター演習」の講義も担当。年間8単位の授業を持ったことが自分のキャリアに大いに役立った。あいまいもことした「話す技術」を私なりに体系化することができたのである。

このネット社会ではどんな形でも仕事ができる

私が今、気に入っているのはユーチューブ配信だ。スマホで撮影し、タブレットで編集し、音楽もつけて…。素人っぽい動画だが、誰からも強制されず、内容も私の思うまま。茶飲み話のように少しずつ続けて、120本以上配信している。まだまだ続ける気満々だ。

日本人は人前で話すのが苦手だとよく言われる。何とかしたいとテーマに悩むが、私の配信内容についてユーチューブから送られる分析が面白い。それによると呼吸、発声、滑舌、アクセントやイントネーション、表情、話し言葉…、意外にも基本的な事に人気がある。私としては、「ひとつの場面で話す」「話の順番」「観察力が大事」…などを理解してもらいたいのだが、それらには反応が薄い。

半世紀に及ぶ私の一本道、まだまだ挑戦は続く。

(同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」を掲載しています。)

○共通テスト説明会

9月7日(土) 共通テスト説明会を実施しました。『受験案内』を配布し、パワーポイントで今後の出願に向けての流れや志願票の書き方などの説明がありました。共通テストに関する今後の予定です。前号と内容はほぼ同じです。

9月18日(水) 志願票提出(校内〻切)

高校生は学校からの一括出願で、個人での出願はできません。

10月25日(金) までに 「確認はがき」 到着

「確認はがき」は「志願票」の記載が正確に登録されているかを確認するためのものです。「志願票」のコピーが必要な理由です。

12月中旬 「受験票」 到着

受験会場が分かります。例年、3～4会場に分かれています。

○情報誌『栄冠めざして』VOL2 配布

河合塾の情報誌『栄冠めざして』VOL2を、近日中に全員へ配布します(配布日は学年毎に異なります)。このVOL2は3年生が受験する新課程入試の受験科目が載っています(VOL3は、入試難易度と受験日や発表日が掲載されています)。

3年生は志望校の入試要項から受験科目の確認は済んでいると思われるかもしれませんが、併願校などを選ぶ際の参考にして下さい。次年度科目選択決定もある2年生、また1年生も早めに、志望大学の受験科目を確認しておきましょう。

○7月模試の結果(1・2・3年生)

夏休み前に受験した進研模試(3年は今年から進研模試に変更)の結果が戻ってきました。各学年の状況と、今後心がけるべきことをまとめてみました。

・1年生

3教科総合の平均偏差値は昨年よりも1ポイント上回っていました。特に国語と英語がよかったです。教科によって上位層に多寡があったり、基礎問題の取りこぼしが見られました。今、学習しているのは2年後の大学受験で土台となる基礎の部分です。2年後、どんな進路でも選べるように(≒弱点科目があるために進みたい道へ行けないことがないように)、模試の見直しをしましょう。

また、日頃から、基本的な事項をミスなく丁寧に解ききることを意識しましょう。

・2年生

3教科総合の平均偏差値は例年より1ポイント程度下がりました。教科別では数学と英語が若干厳しかったようです。無論、個人レベルでは各教科、分野によっては理解度が高いところも弱点もあります。各自、模試の見直しをしっかりと行い、演習量を増やすなどして、弱点を克服し、基礎学力を固めましょう。国語・数学・英語の基礎学力を固めるのは2年生のうちです。

・3年生

昨年まで3年生が受験した駿台共通テスト模試は、受験者に浪人生の割合が多いこと、都立高校の受験が少ないことから、今年から進研模試に変更しました。昨年との比較はできませんが、すでに配布してある「進研模試合格ライン2024」には、各大学学部、昨年度合格者の平均偏差値が掲載されています。参考にしてください。ただ現時点でまだ偏差値が足りなかった場合でも、まだ伸びしろはあります。強化すべき教科・分野が分かって良かったと前向きに捉えて、学習を進めましょう。例年、この模試ではE判定から合格した先輩がいることを覚えておいてください。

○進路資料室(赤本部屋)の利用について

赤本は、国公立大学が進路室前廊下、私立大学が進路資料室内にあります。今まで、同じ大学の赤本が廊下にあったり、赤本部屋にあったりした状態を整理してあります。

間もなく赤本の最新版(2025年度入試用)が入荷します。こちらは、全て(国公立大学・私立大学ともに)赤本部屋の奥の棚上に置く予定です。

赤本部屋内には、赤本以外に、大学入試問題正解(年度・科目ごとに全国の大学入試問題を集めたもの)、各予備校などの模試の問題(全国模試の他に、冠模試の問題)があります。赤本と同様に借りることができますので、是非、利用してください。

赤本など貸し出しのルール(再掲)

廊下或いは赤本部屋内の貸出簿に必要事項を記入して借りてください。冊数は特に制限はありませんが、みんなが使うものなので、常識の範囲でお願いします。期間は1週間が目安、最新版は2日です。12月になると冊数、貸出期間を制限します。改めて連絡します。